

- 健康スポーツ実習Ⅰ（環境理・栄養健康科）
- 健康スポーツ実習Ⅰ（生活環境）
- 【後期】
- 健康スポーツ実習Ⅱ（国文）
- 健康スポーツ実習Ⅱ（英文）
- 健康スポーツ実習Ⅱ（環境理・栄養健康科）
- 健康スポーツ実習Ⅱ（環境理・生活環境）
- 平成十七年（一～十二月）
- 国文学科教員著書・研究論文業績
- ◎田坂憲二
- ・角川書店の『昭和文学全集』の変化（『文藝と思想』69号）
 - ・教養文化と出版史の動向について——学習研究社と旺文社の現代日本文学の全集——（福岡女子大学近代日本研究会編『近代日本精神形成史の研究』）
 - ・冷泉朝の始発をめぐつて——貞觀八年の影——（新典社『源氏物語の新研究』——内なる政治性を考える）
 - ・『源氏物語』と『日本文学全集』（武藏野書院『源氏物語とその享受 研究と資料』）
- ◎今井 明
- ・『日本語教員養成教材作成のための基礎研究』（共著）（福岡女子大学日本語教員養成教材研究会編）
 - ・「近代『古典』教育とその思想」——「教材用書」定家偽書について」（福岡女子大学近代日本研究会編『近代日本の精神形成史の研究』）
 - ・「勅撰和歌集と天皇正統觀」——続後撰和歌集の場合——」（『文藝と思想』69号）
- ◎石井和夫
- ・「未帰還の友」と「徒然草」——二葉亭と梶井基次郎が太宰治の作品に落とした影を併せて」（山内祥史編『太宰治研究13』和泉書院）
 - ・「梶井基次郎と太宰治」（『文藝と思想』69号）
 - ・「鷗外の小品」（『香椎潟』51号）
- ◎月野文子
- ・「古今集と藤原定家」（『文学』第六卷三号 岩波書店）
 - ・『日本文学史』の「鎌倉時代の和歌」観（『香椎潟』51号）
- ◎大久保順子
- ・「四十あまりの女——『嵐は無常物語』卷上の三「世の人しらぬしにするかな」——」（『国文学解釈と鑑賞』別冊『西鶴 挑発するテキスト』至文堂）
 - ・「四十あまりの女——『嵐は無常物語』卷上の三「世の人しらぬしにするかな」——」（『国文学解釈と鑑賞』別冊『西鶴 挑発するテキスト』至文堂）
 - ・「四十あまりの女——『嵐は無常物語』卷上の三「世の人しらぬしにするかな」——」（『国文学解釈と鑑賞』別冊『西鶴 挑発するテキスト』至文堂）
- ◎矢野 準
- ・「『一之富當眼』の仮名遣い——「い・ひ・ゑ」「え・へ・ゑ」の仮名遣いを中心」——（『国語文字史の研究8』）
- ・「文学全集からみた河出事件の背景」（『香椎潟』51号）
- ・「『続板倉政要』系列裁判説話の研究（四）——内閣文庫蔵本と本文の問題——」（『香椎潟』51号）
- ・「未帰還の友」と「徒然草」——二葉亭と梶井基次郎が太宰治の作品に落とした影を併せて」（山内祥史編『太宰治研究13』和泉書院）
- ・「梶井基次郎と太宰治」（『文藝と思想』69号）
- ・「鷗外の小品」（『香椎潟』51号）
- ・「如是我聞」に見える儒者批判——漢文体「笑話」に描かれる儒者像とその権威の失墜——（福岡女子大学近代日本研究会編『近代日本の精神形成史の研究』）
- ・「ほどとぎす鳴く羽触れにも散りにけり」——大伴家持の花鳥詠の形成（『香椎潟』51号）

- ・「『両禿対仇討』の仮名遣い」（『日本近代語研究4』）

語研究4)

- ・〔書評〕諸星美智直著『近世武家言葉の研究』（『日本語の研究1の4』（『国語学223』））

・『日本語教員養成教材作成のための基盤研究』（共著）（福岡女子大学日本語研究会編）

教員養成教材研究会編）

- 〔報告〕「敵討賽八丈」（会話部分の「」）と「香椎潟」（『香椎潟』51号）

◎坂本浩一

- ・明治期日欧言語交流の諸相——『英語節用集』と英和対訳辞書3種6版の総合比較データ報告——（『香椎潟』51号）

・『日本語教員養成教材作成のための基盤研究』（共著）（福岡女子大学日本語教員養成教材研究会編）

◎川野靖子

- ・『日本語教員養成教材作成のための基盤研究』（共著）（福岡女子大学日本語教員養成教材研究会編）

◎鎌倉瞳子

- ・日本語の助動詞について——終止形承接の助動詞からその本質をさぐる

——（『香椎潟』51号）

平成十七年（一～十一月）

英文学科教員著書・研究論文業績

- ・「世界」（南雲堂）『英語青年』九月号（研究社）

◎富川美佐子

- ・Review: "Erdinast-Vulcan et al, eds.

◎山中光義

- ・『全訳 チャイルド・バラッド』第一卷（監修）（音羽書房鶴見書店）

・『全訳 チャイルド・バラッド』第二卷（監修）（音羽書房鶴見書店）

◎村里好俊

- ・「メアリ・ロウス『パンフレリアからアン・フイランサス』」第一歌』『英語青年』二月号（研究社）

・「シドニー・メアリ・ロウス」『英語青年』十一月号（研究社）

- ・「クリストファー・マーロウ『ヒアロウとリアンダー』訳と注解『香住ヶ丘レヴュー』第十一号（福岡女子大学英文学会）

◎村長祥子

- ・poet as a Conjunction Introducing Adverb Clauses in the Vercelli Homilies I-VIII. *Studies in the Humanities*, vol.69. Faculty of Literature, Fukuoka Women's University.

◎田上優子

- ・「日本における「」と「」の教育に明るい未来はあるのか?——戦後六十年の英語教育を顧みて——」（福岡女子大学近代日本研究会編）『近代日本の精神形成史の研究』

・「ホイットマンと19世紀アメリカ」（共編著）（開文社出版）

- ・「生涯学習としての英語...non-strained learner が示す自律学習」『香住ヶ丘